

拠出金名： 大西洋まぐろ類保存国際委員会拠出金

国際機関等名	大西洋まぐろ類保存国際委員会 (英文名称・略称) International Commission for the Conservation of Atlantic Tunas (ICCAT)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	農林水産省水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	(注1)	
平成17年度	32,993	308		1\$ =107円	(2005年) 96	100
平成16年度	33,919	308		1\$ =110円	(2004年) 70	100
平成15年度	0	0		1 = 円	(2003年) -	-
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004年度決算)		
	国 名	(注2) 金額(千ユーロ)	率(%)	当該年度の収入 242,894ユーロ		
1位	日本	242	96	当該年度の支出 226,715ユーロ		
2位	米国	11	4	次年度への繰越 16,179ユーロ		
3位				会計検査機関名		
4位				Bernardo TAHOCES ACEBO		
5位				(現在の構成員の出身国:スペイン)		
上記の率及び順位は2005年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
ICCATは、大西洋全体(地中海を含む)における高度回遊性魚類(まぐろ、かつお等)の資源管理を目的として設立された国際機関である。本海域では、我が国漁船により年間まぐろ類が約3万トンが水揚げされている。近年、大西洋のまぐろ資源が減少傾向の中、沿岸途上国による操業が増加しており、効果的な資源管理の導入が急務となっていることから、ICCATの果たす役割は重要であると評価。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
ICCATにおいては、毎年、加盟国に対して拘束力を有する措置を含む新たな保存管理措置等が検討、定められている。我が国としては、漁業国及び主要なまぐろの消費国としての責務から、措置の策定過程にも積極的にかかわり、科学的根拠に基づく保存管理措置を支持する立場にある。このため、我が国等が拠出金を提供することにより、科学調査の機能強化が図られ、より適切な保存管理措置を定めるための有益な科学データが得られる。						
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に しめる率		22人 5%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
ICCAT事務局に派遣し、コーディネーターとして事業を効率的かつ効果的に実施するための調整、情報収集及び計画立案等を行う。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

(注2) 我が国拠出金はドル建だが、機関の会計はユーロ建てによる報告のため(拠出金308,338ドル≒242,363ユーロ)